

ツキノワグマのエサ資源調査（着果状況調査）結果について

1 調査概要

- (1) 調査時期 8 月
- (2) 調査地点 南加賀～中能登地域の 20～30 か所（6 月の雄花の落下数調査と同地点）
- (3) 調査内容 ブナ、ミズナラ、コナラの着果状況を調査・評価のうえ、5 段階で豊凶を判定

<着果状況の判定基準>

- ① 各調査樹木の着果状況を指数評価

着果なし : 0 一部の枝に疎に着果 : 1 一部の枝に密に着果 : 2
 樹冠全体に疎に着果 : 3 樹冠全体に密に着果 : 4 非常に密に着果 : 5

- ② 調査樹木の指数を平均し、下表により豊凶を 5 段階で判定

樹 種	大凶作 ×	凶 作 ▲	並 作 ○	豊 作 ◎	大豊作 ◎◎
ブ ナ	0.1 未満	0.1～1.0 未満	1.0～2.0 未満	2.0～3.0 未満	3.0～
ミズナラ					
コ ナ ラ					



ブ ナ



ミズナラ



コ ナ ラ

2 調査結果

樹 種	予 測	着果度 平均値	調査 地点	内 訳				
				大凶作 ×	凶 作 ▲	並 作 ○	豊 作 ◎	大豊作 ◎◎
ブ ナ	× 大凶作 (R6 : ▲凶 作) (R5 : ○並 作) (R2 : × 大凶作)	0.09 (0.73) (1.55) (0.04)	24	17	7	0	0	0
			(25)	(8)	(9)	(5)	(2)	(1)
			(22)	(2)	(5)	(7)	(6)	(2)
			(24)	(19)	(5)	(0)	(0)	(0)
ミズナラ	◎ 豊 作 (R6 : ◎豊 作) (R5 : ○並 作) (R2 : ○並 作)	2.31 (2.27) (1.52) (1.32)	21	0	3	6	6	6
			(21)	(0)	(1)	(10)	(4)	(6)
			(19)	(0)	(4)	(12)	(3)	(0)
			(22)	(2)	(7)	(7)	(5)	(1)
コ ナ ラ	○ 並 作 (R6 : ○並 作) (R5 : ○並 作) (R2 : ▲凶 作)	1.91 (1.93) (1.86) (0.73)	29	1	6	10	8	4
			(28)	(0)	(3)	(10)	(15)	(0)
			(27)	(0)	(11)	(4)	(7)	(5)
			(30)	(6)	(16)	(5)	(1)	(2)

冬眠前の主要なエサである**ブナが、目撃件数や人身事故人数が過去最多だった令和2年**以来の「**大凶作**」の予測に加え、**目撃件数が多い（過去2番目の多さ）**
 ⇒ **今秋は人里付近でのクマの大量出没が予想される状況**

参考：近年の着果状況調査による豊凶状況（予測）

区 分	各年度の着果状況調査（8月）における豊凶結果										
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
ブ ナ	◎	▲	○	◎	▲	×	◎◎	▲	○	▲	×
ミズナラ	○	◎	◎	◎	▲	○	◎	◎	○	◎	◎
コ ナ ラ	○	◎	○	○	○	▲	○	○	○	○	○
目撃件数	195 (145)	246 (193)	200 (162)	178 (148)	350 (214)	869 (227)	231 (202)	244 (214)	280 (138)	420 (242)	229 (229)

大 豊 作 ◎◎
 豊 作 ◎
 並 作 ○
 凶 作 ▲
 大 凶 作 ×

※（ ）内は8月10日時点の目撃件数